



青南だより

令和4年4月号

港区立青南幼稚園
園長 新山 裕之

<豊かな自然の恵みを生かして>

青南幼稚園の大きな自慢は、都会とは思えない豊かな自然に恵まれた園庭です。樹木の種類が多く、季節ごとに様々な姿を見せてくれます。それらの自然との出会いが、子どもたちの心を動かして遊びが生まれ、友達との関わりのおかげとなっていきます。池の掃除などの手入れも子どもたちと一緒にしています。春休み中には樹木剪定もしてもらい、さらに環境を整えることができました。畑の日当たりがよくなって、今年は畑で野菜を育てるのが今まで以上に楽しみです。

<変化した状況をプラスに捉えて>

今年度は、年少、年中組は1学級ずつ、年長が2学級の4学級編成での運営となります。担任と年少組の保育補助講師も含めて人数が減った分、限られた職員数となりますが、余裕ができた空間や時間を有効に使って、チームとしての連携を大切にしたい保育を進めていきます。新しい園務支援システム「コードモン」とPTAとして契約を継続してもらった「がくぶり」もしばらくは併用しながらICT化を図っていき、教職員の働き方改革にも取り組んでいきます。

<小さな体験の積み重ねを大切に>

保育は直接体験が基本ですし、大人同士も対面でのコミュニケーションを大事にしていきますが、状況によってはオンラインを利用することがあるかもしれません。PTA活動の全体像を分かりやすく示した図を新しい役員さんたちが協力して作ってくれました。今年度もコロナ禍でも無理のない内容や方法を工夫しながら、日々の小さな体験を豊かな学びにつなげる保育を進めていきます。来春、一人一人のきれいな花が咲くように一年間どうぞよろしくお祈りします。



わくわく池ではオタマジャクシが泳ぎ始めています



園庭のサクラは終業式の頃には3分咲きに



3月末には満開のサクラとカエデの新緑が共演



見る角度によって様々な風景が楽しめます



歩道の安全と畑の日当たりを確保するためカイツカイブキは伐採しました

青南の 二十四節気

・・・卯月（うづき）・・・

清明（5日）… 園庭の花が鮮やかな彩りを見せます …

穀雨（20日）… 草木の緑が一気に伸びていきます …

都会でも、道端に咲く可憐な花などに出合う機会はたくさんあります。勤務する園の自然や季節の移ろいを「二十四節気」に合わせてお知らせし続けてきました。それは身近な自然の変化に気付く心が幼子の心に思いを寄せることとつながっていると思うからです。その思いが小さなコラム「みちくさ いたずら こどものじかん」の発信や園内研の取り組みにもつながっています。今年度もこのコーナーを含めた幼稚園からの発信が身近な自然に思いを寄せるきっかけになれば幸いです。